

# 7. データの特ちょうを調べて判断しよう [データの調べ方] 単元計画 【新しい算数6 東京書籍】

<b>単元の目標</b>	(1) 代表値の意味や求め方、度数分布表やヒストグラムを理解するとともに、目的に応じたデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど統計的な問題解決の方法について理解する。 (2) 目的に応じてデータをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察する。 (3) 統計的な問題解決の過程について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする。										
<b>単元の評価規準</b>	<b>知識・技能</b>			<b>思考・判断・表現</b>			<b>主体的に学習に取り組む態度</b>				
	①代表値の意味や求め方を理解している。 ②度数分布表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。 ③目的に応じたデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど統計的な問題解決の方法について理解している。			①目的に応じてデータをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察している。			①統計的な問題解決の過程について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする。				
<b>小単元</b>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
				(1) 問題の解決の進め方				(2) いろいろなグラフ		まとめ	単元末テスト
<b>目標</b>	代表値としての平均値について理解する。 (教科書P.100~103)	データをドットプロットに整理する方法を理解し、データの散らばりの様子を考察している。 代表値としての最頻値について理解する。 (教科書P.104~105)	データを度数分布表に整理する方法を理解し、読み取る。 (教科書P.106~107)	ヒストグラムの読み方、かき方について理解する。 (教科書P.108~109)	代表値としての中央値について理解し、平均値や最頻値、中央値を代表値としてまとめる。 (教科書P.110~111)	データの特徴や傾向に着目し、問題に対する結論を考え、代表値などを用いて判断する。 (教科書P.112)	これまでの学習に関連して新たな問題を設定し、解決するとともに、統計的な問題解決の方法を理解する。 (教科書P.113~114)	既習のグラフを組み合わせたグラフの読み方を理解する。 (教科書P.115~117)	学習内容の定着を確認するとともに、単元の学習を振り返り価値付ける。		

毎時の評価規準 (○指導に生かす評価 ●記録に残す評価 ※①②③は単元の評価規準を参照)

<b>知識・技能【知】</b>	① ○データの特徴を調べるときに、平均値を用いることがあることに理解している。	① ○ドットプロットに表す方法や、データの特徴を調べるときに最頻値を用いることがあることを理解している。	② ●散らばりの様子を調べると、データの特徴が分かりやすくなることを理解し、データを度数分布表に整理したり、度数分布表を読み取ったりすることができる。	② ○ヒストグラムに表すと、データの特徴や分布の様子が分かりやすくなることを理解し、ヒストグラムを読んだり、かいたりすることができる。	① ●データの特徴を調べるときに、中央値を用いることができることを理解している。	③ ●目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど統計的な問題解決の方法について理解している。	③ ○いろいろなグラフの特徴を読み取ることができる。	③ ●単元で学習したことを基に、問題を解決することができる。
<b>思考・判断・表現【思】</b>		① ○散らばりの様子を調べる必要性について考え、データを統計的に考察している。				① ●データの特徴や傾向に着目し、問題に対する結論を考え、代表値などを用いて判断している。	① ○結論や問題解決の過程が妥当であるかどうかを別の観点や立場から批判的に考察している。	
<b>主体的に学習に取り組む態度【主】</b>	① ○平均値で比べることのよさに気付いている。			① ○ヒストグラムから、データの特徴を見いだそうとしている。		① ●データの特徴や傾向に着目し、問題に対する結論を考え、代表値などを用いて判断しようとしている。		① ●単元の学習を振り返り、価値付けたり、今後の学習に生かそうとしてしている。

学習の流れ (目安:分) と 学習形態 (★前時に課した家庭学習との関連、※デジタルドリル活用 △教科書の問題番号)

家庭学習時間	※A1ドリル (5年11-まとめ)	※共通ドリル(6年14-3)	※A1ドリル(6年12-1)	※共通ドリル(6年14-5)	※共通ドリル(6年14-7)	※A1ドリル (6年12-2)	※A1ドリル(6年12-3)	※共通ドリル(6年14-9)	※A1ドリル(6年12-4)	※共通ドリル(6年14-11)
0	①《パフォーマンス課題》提示された課題を把握する。	①★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	①★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	①★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	①★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	①★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	①★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	①「日本の年齢別人口」のグラフを見て、特徴を押さえる。	①《パフォーマンス課題》第1時で提示した課題を再提示する。	①C B T 単元テスト【知】(データの調べ方)
5	②<既習内容の確認>グラフや平均など、データの特徴や傾向を捉える方法について確認する。	②「ドットプロット」について知る。	②回数を5回ずつの区間に区切った表に書き込む。	②「ヒストグラム」について知る。	②「中央値」について知る。	②3つのクラスのデータを、統計的な観点で調べて整理した表にまとめる。【主】	②前時の表やドットプロット、ヒストグラムを根拠に、問題の結論が妥当であるか考察する。【思】	②条件に合わせてグラフを選択し、グラフから分かることを読み取る。【知】	②《パフォーマンス課題》データを基に、財布の適正な値段と配送日数を判断する。【思・ルーブリック評価】	②即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所を直し直しを行う。 ※A1ドリル (6年12-まとめ) を家庭学習とする。
10	③データから分かることを整理する。	③データをドットプロットに表し、散らばりの様子を調べる。【思】	③「階級」「階級の幅」「度数」「度数分布表」について知る。	③2つのクラスのデータをヒストグラムに表し、ヒストグラムから分かることを確認する。【知】【主】	③3つのクラスの中央値を求める。【知】	③3つのクラスのデータを、統計的な観点で調べて整理した表にまとめる。【主】	③条件に合わせてグラフを選択し、グラフから分かることを読み取る。【知】	③条件に合わせてグラフを選択し、グラフから分かることを読み取る。【知】	③《パフォーマンス課題》データを基に、財布の適正な値段と配送日数を判断する。【思・ルーブリック評価】	③即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所を直し直しを行う。 ※A1ドリル (6年12-まとめ) を家庭学習とする。
15	④3つのクラスのデータを比べる方法について話し合う。	④「最頻値」を知り、ドットプロットから調べる。【知】	④度数分布表から、データの特徴を調べる。【知】	④ヒストグラムからデータの特徴を判断しやすくなることをまとめる。	④「代表値」を知る。	④3つのクラスのデータを、統計的な観点で調べて整理した表にまとめる。【主】	④前時の表やドットプロット、ヒストグラムを根拠に、問題の結論が妥当であるか考察する。【思】	④条件に合わせてグラフを選択し、グラフから分かることを読み取る。【知】	④《パフォーマンス課題》データを基に、財布の適正な値段と配送日数を判断する。【思・ルーブリック評価】	④即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所を直し直しを行う。 ※A1ドリル (6年12-まとめ) を家庭学習とする。
20	⑤3つのクラスのデータの平均値を求めて比べる。【知】【主】	⑤ドットプロットのよさや、最頻値についてまとめる。	⑤散らばりの様子からデータの特徴が分かりやすくなることをまとめる。	⑤習熟タイム・ステップ0・ステップ1 ※共通ドリル(6年14-6)	⑤習熟タイム・ステップ0・ステップ1 ※共通ドリル(6年14-8)	⑤3つのクラスのデータを、統計的な観点で調べて整理した表にまとめる。【主】	⑤前時の表やドットプロット、ヒストグラムを根拠に、問題の結論が妥当であるか考察する。【思】	⑤条件に合わせてグラフを選択し、グラフから分かることを読み取る。【知】	⑤《パフォーマンス課題》データを基に、財布の適正な値段と配送日数を判断する。【思・ルーブリック評価】	⑤即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所を直し直しを行う。 ※A1ドリル (6年12-まとめ) を家庭学習とする。
25		⑥習熟タイム・ステップ0・ステップ1 ※共通ドリル(6年14-4)	⑥習熟タイム・ステップ0・ステップ1 ※共通ドリル(6年14-1)	⑥習熟タイム・ステップ0・ステップ1 ※共通ドリル(6年14-6)	⑥習熟タイム・ステップ0・ステップ1 ※共通ドリル(6年14-8)	⑥3つのクラスのデータを、統計的な観点で調べて整理した表にまとめる。【主】	⑥前時の表やドットプロット、ヒストグラムを根拠に、問題の結論が妥当であるか考察する。【思】	⑥条件に合わせてグラフを選択し、グラフから分かることを読み取る。【知】	⑥《パフォーマンス課題》データを基に、財布の適正な値段と配送日数を判断する。【思・ルーブリック評価】	⑥即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所を直し直しを行う。 ※A1ドリル (6年12-まとめ) を家庭学習とする。
30		⑦「平均値」を知り、まとめる。	⑦「平均値」を知り、まとめる。	⑦「平均値」を知り、まとめる。	⑦「平均値」を知り、まとめる。	⑦3つのクラスのデータを、統計的な観点で調べて整理した表にまとめる。【主】	⑦前時の表やドットプロット、ヒストグラムを根拠に、問題の結論が妥当であるか考察する。【思】	⑦条件に合わせてグラフを選択し、グラフから分かることを読み取る。【知】	⑦《パフォーマンス課題》データを基に、財布の適正な値段と配送日数を判断する。【思・ルーブリック評価】	⑦即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所を直し直しを行う。 ※A1ドリル (6年12-まとめ) を家庭学習とする。
35						⑧いろいろな比べ方や結果を見直し、優勝クラスを予想する。【思】	⑧統計的な問題解決の5つの段階に沿って、これまでの学習を振り返る。【知】	⑧ダイアグラムや階段グラフ、標本調査の考え方について知る。	⑧《パフォーマンス課題》データを基に、財布の適正な値段と配送日数を判断する。【思・ルーブリック評価】	⑧即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所を直し直しを行う。 ※A1ドリル (6年12-まとめ) を家庭学習とする。
40						⑨「平均値」を知り、まとめる。	⑨統計的な問題解決の5つの段階に沿って、これまでの学習を振り返る。【知】	⑨ダイアグラムや階段グラフ、標本調査の考え方について知る。	⑨《パフォーマンス課題》データを基に、財布の適正な値段と配送日数を判断する。【思・ルーブリック評価】	⑨即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所を直し直しを行う。 ※A1ドリル (6年12-まとめ) を家庭学習とする。
45									⑩<単元の振り返り>【主】	⑩<振り返り>